

# 新型コロナウイルス感染症関連情報 ⑩

7日に発令された「緊急事態宣言」から1週間。兵庫県は大阪府とともに15日から一定施設の休業要請に踏み切りました。県は休業に協力した施設への支援策を検討するとしています。

西宮市は9日夕方、臨時休校中の**育成センターの「閉所」と学校での預かり事業の実施**を発表しました。11日正午の締め切り時点で819人の申請があったことなどを、13日の市議会災害支援本部役員会議で説明。佐藤議員が対象者などについて柔軟な対応を求めました。また、役員会議では市のコロナ対応に関する**要望について全会派で**（無所属4名もBCP無所属セッションという会派を結成）一致できる項目をまとめることを決定し、15日市長に提出しました。

## 1. 学校での預かり事業について

●対象は1年生から3年生で、保護者がともに①医療・介護、警察、消防などに従事している、②食料品、医薬品販売などに従事している、③ひとり親家庭で仕事が休めない方に限っています。

「柔軟な対応を」との佐藤議員の求めに、教育次長から「要件に外れる方から150件の問い合わせがあった。教育委員会教育主事が聞き取りを行い、特別な事情がある場合申請を受けた。締め切り後の申請も当事者と協議する」と、回答があり

## 2. 西宮市議会災害対策支援本部から市への意見要望（太字は党議員団提案）

### 1 医療体制構築への準備

医療は県との調整事項であることは承知しつつ、現時点における県の医療体制整備に向けた指針（県全体で500床確保、軽症・無症状者の自宅待機）では感染拡大抑制が効かず、いわゆるオーバーシュートが生じた場合には、本市においても相当の混乱が生じるのではないかと懸念されます。市におかれては県との協議・協調体制は維持しつつ、軽症・無症状者収容施設の独自確保、最悪の事態に備えた市立中央病院のさらなる活用策検討等、本市独自に医療体制を構築・維持するための準備を進められたい。

2 予期せぬ**学校の長期休業**発生に伴う、子供達の学力低下・家庭環境悪化を避けるための取組が必要であります。

①プリント等、学習資料の配布と進捗状況の確認、オンライン教育の推進、学年別の登校日設定、家庭環境調査等、具体的な対策を検討・実施するよう要望します。

②オンライン教育を実施するためには、各家庭におけるオンライン環境の確認が必要であることから、早急の実態を調査するよう要望します。

③児童虐待やDV被害の恐れなどがある児童生徒に対する対応について登校日を設定した場合、登校した児童生徒が発するSOSを見逃すことなく、様子等を丁寧に観察し、細かな変化や気になることがあれば、個別に面談することを要望します。

④児童虐待やDV被害の恐れのある児童生徒や、自傷行為が見られるなど特別に配慮を必要とする児童生徒については、家庭訪問や電話連絡等で児童生徒の状況を確認することを要望します。

日本共産党 2020.4.16/No.719 西宮市六湛寺町 10-3  
**西宮市会議員団ニュース** TEL35-3368FAX22-7815

お困りごと、要望、情報などをぜひお寄せください

市ホームページをご覧になれない方等のため、市発表の情報等をもとにこのニュースを発行しています。

3 全国知事会は緊急事態宣言を受けての「緊急提言」を発出し、提言では「1、イベント等の開催や事業活動の自粛など感染防止のための**協力要請に対する補償等**」の項目の中で、「国においては、中止・休止に伴う営業損失について補償するなど、主催者や事業者が安心して要請に協力していただけるよう、強力かつ実効性のある対策を講じること」としています。これらを参考に「全国市長会」でも国に対して提言を出すよう働きかけることを要望します。

4 他市では、新型コロナウイルス感染症に対する**市民への支援策**として、下記のような自治体独自の様々な取り組みが行われています。本市においても、これらを参考にし、市として主体的・積極的な取り組みを検討いただけますようお願いいたします。

○小野市は、市が備蓄していたマスク 10 万枚を、市民 1 人につき 5 枚ずつ無料で配布、三木市は市内の高齢者施設や障害者施設を営む社会福祉法人などに、消毒用の微酸性次亜塩素酸水スプレーを配布。加古川市は、次亜塩素酸水を市が手作りし市民に無料配布する等々、各自治体が独自の取り組みを進めている。本市も市民が困っている事に直接手を差し伸べるよう検討することを求める。

#### ○国民健康保険料の緊急引き下げ

東京都立川市では、3 月議会で可決した国民健康保険料の値上げ分については元に戻す条例を専決処分している。本市でも来年度に実施するとしている減免の拡充を前倒しすることを含め国保料を引き下げよう検討することを求める。

#### ○保育所副食費の無償化

明石市、高砂市等では、すでに副食費については無償化を実施しています。本市では新型コロナウイルス対応で副食費については日割りとされているが、特に、民間保育園では事務が煩雑になるため、当面、副食費については無償にするよう検討することを求める。

#### ○就学援助について

南あわじ市では就学援助を受けている準要保護世帯については、学校休校中は家庭での昼食代の出費が増えることから、給食費に代わるものとして一律 5 千円支給している。本市でも支援策を検討することを求める。

#### ○ひとり親世帯への支援について

学校園の休校や、外出自粛による影響で、ひとり親世帯は保育負担増と収入減少に直面しており、生活状況が困窮する恐れがある為、手厚い支援が必要だと考える。明石市では、独自に児童扶養手当を 3 万円上乗せ支給すると発表している。本市においても、ひとり親世帯について市独自の支援策を検討することを求める。

#### ○市内飲食業者の支援について

新型コロナ感染症拡大により市内飲食店の経営は非常に厳しい状況にある。この市内飲食店事業者の支援として、持ち帰り（テイクアウト）や配達、出前の取り扱いができる店舗を西宮市のホームページにて紹介し応援して頂くよう検討することを求める。 以上

**市役所**も人と人との接触を減らすため、特別の業務体制をとっています。よって、

- ① 来庁は必要不可欠な用務以外は、極力避けていただくこと
- ② やむを得ず来庁される場合でも、できる限り 10～16 時の間で の 2 点をお願いしています。